

鎌地共第 848 号
令和4年(2022年)7月11日

和田 安弘 様

鎌倉市長 松尾 崇



このたびは、わたしの提案に御意見をいただきありがとうございます。
お寄せいただいた御意見について、次のとおり回答いたします。

Q 1 修復工事は順調に進んでいるようですが、施工中に変更したところはありますか？工事中非常にご苦労されたことは何でしょうか？もし差し支えなければお教えください。

A 1 令和3年10月に改めて耐震改修及び増築工事の工事契約を行い、工事を進めておりますが、工事中に意匠、間取り等の変更はありません。令和2年度の修正設計において、当初は予定していなかったエレベーターの増設と増築部の一部間取りの変更を行っています。

Q 2 建築当時の旧鎌倉図書館の面影（婦人閲覧室、新聞閲覧室、腰板、両端がRになった天井の梁、重厚な内装材など）はどのように復元されますか？

A 2 1階事務室（旧新聞雑誌閲覧室、旧特別閲覧室）及び2階子ども室1（旧婦人閲覧室、旧一般閲覧室）の3連窓及び上げ下げ窓、1階図書室（旧児童閲覧室）の柱・梁の装飾部材、2階階段室（旧喫煙室）の柱の装飾部材、階段室下の倉庫の床材の一部、階段の親柱及び手摺を再利用します。また、既存の意匠を踏襲し、1階図書室（旧児童閲覧室）の腰壁を箱目地板張りとしています。

Q 3 歴史的価値のある組立式木製書架や上げ下げ窓、3階書庫への階段など、現在大切に保存されていると聞いていますが、それらを活用したり展示したりする計画はありますか？今後の保管体制はどのように予定されていますか？

A 3 上げ下げ窓や組立式木製書架は、当時の意匠を踏襲する意味でも重要な要素であると考えています。そのため、上げ下げ窓については、必要な補修を行った上で、再取り付けを行い、組立式木製書架については、竣工後の学童保育施設オープンと合わせ、書架の1つを旧鎌倉図書館の歴史に触れることができるような物品を展示する棚として、再利用する予定です。3階書庫への階段については、建物自体が2階建てとなることや子どもたちへの安全性を考慮し、撤去することとしました。

Q 4 旧図書館の貴重な組立式木製本棚は大切に保存され、子どもの家の本棚として活用される提案がされていたかと思いますが、本工事ではどのようになっていますか？

高書架を低書架に改造したり、両面独立型を壁置きの片面型に改造したりすることも含めて活用してほしいと思いますし、子どもの所持品置き場や遊具置き場にも転用できそうですが、いかがですか？

A 4 御提案いただいた本棚については、旧鎌倉図書館の歴史に触れるができるような物品を展示する棚として、施設内で再利用する予定です。

Q 5 旧書庫の3階は床を外して、梁と根太は残して2階の吹き抜けにする設計になっていましたが、今回の工事ではどうなっていますか？

A 5 旧書庫部分の3階は、当初の設計から床板と根太を取り外し、梁を残した吹き抜けとすることとしており、今回の工事においても変更していません。

Q 6 完成後、この建物の運営管理は直営で行われますか？所管はどこになりますか？

A 6 竣工後、旧鎌倉図書館は、現在仮設施設で運営している学童保育施設「放課後かまくらっ子おなり」として活用することとしており、現指定管理者である「株式会社理究キッズ」が管理運営を行います。

なお、所管は、こどもみらい部青少年課となります。

Q 7 予定されている用途が子どもの家、子ども会館であるため、来年4月からの日常的な利用者は限定的になると思われます。しかし、由緒ある歴史建造物ですから、年に数日でも、市民が見学できるオープンデーを設けてほしいと思いますが、いかがですか？

A 7 御認識のとおり、建物の用途は、学童保育施設となるため、利用者は子どもたちが中心となります。そのため、安全面や防犯面の観点から、市内にある他の学童保育施設と同様に一般開放はしない予定です。なお、他施設と同様、平日の午前中と土曜日は、乳幼児親子に向けて、プレイルーム（増築部）を開放する予定です。

しかしながら、この施設が由緒ある建物であることから、竣工後に内覧会を実施するとともに、その後も一般市民の方にも内部をご覧いただけるような機会を設けたいと考えております。

Q 8 開館当初から現在までの建物の用途や外観の変遷がわかる写真（古写真）や絵画が多数残っていますが、それらをパネル化するなどして館内に展示する

予定はありますか？子どもたちへの歴史教育の一環としてそのようなスペースは大切と思われますが、いかがお考えですか？

A8 一般開放を行う施設運営を想定していないため、御提案いただいたパネル等を施設内に展示することは考えておりませんが、利用する子どもたちが、当該施設の歴史等を学ぶことができるような資料を配架できないか検討したいと考えております。

Q9 この建物の長期にわたる保存・維持・管理のためのメンテナンス計画は作成されますか？

A9 旧鎌倉図書館に特化したメンテナンス計画等を作成する予定はありませんが、指定管理者の行う業務内容に、定期的な施設点検の実施を含めております。法定点検のほか、日常点検を適切に実施することで、建物の維持管理に努めてまいります。

Q10 歴史的建造物の復元工事に取り組んだこの度の経験を、問題点も含めて詳細にまとめておくことは今後のためにも重要と考えます。工事終了後、旧鎌倉図書館復元工事に関する詳細な報告書の作成に取り組んでいただきたいと思いますが、いかがですか？

A10 御提案いただいたような工事に関する詳細な報告書を作成する予定はありませんが、これまでの工事経過等を市のHP上で随時公開しております。また、施工業者から提出されることとなる完成図書類を、行政文書として適切に保存することで、今後の維持管理業務への対応は適切に実施できると考えております。

Q11 有形文化財の登録手続きはどこまで進んでいますか？

A11 竣工後、速やかな国の有形文化財への登録に向けて、府内の事業課や文化財部門の担当課と相互に情報共有等を行い、国、県と協議、調整を行ってまいります。

Q12 旧鎌倉図書館は景観重要建造物等保全基金の対象建築物ですが、ふるさと納税等による寄附金制度はこれからも継続されますか？

A12 ふるさと寄附金制度を利用した維持管理は今後も継続したいと考えております。

Q13 子どもの家、子ども会館の図書コーナーの資料購入予算はどのくらいですか？

A13 現在の施設で使用している図書を、新施設でも使用する予定です。図書の購入を行う指定管理者に対しては、他施設と同様、子どものニーズを満たすよう促すとともに、市としても子ども達が興味をもって図書にふれる機会の創出に努めてまいります。

Q14 建物や旌徳碑それぞれを囲む植栽や、生垣やアプローチなど、外構はどのようなデザインになりますか？建物だけでなく、由緒ある旌徳碑を市民だれもが正面から見ることができるようにになりますか？

A14 外構計画については、道路側に低中木を配置し、御成小学校の生垣との連続性に配慮しています。また、道路側に出入口を設けるため門扉を設置します。敷地内の植栽は、旌徳碑周りの既存樹木を残し、その周囲を囲うように低木を配置します。

子どもの家及び御成小学校の敷地は施設管理上、一般の方が自由に出入りしていただくことはできないため、旌徳碑を自由にご覧いただくことはできません。

Q15 建物の由来を伝える案内板は建てられますか？建てられる場合、どこに、どのくらいの大きさで、どんな文面の案内板を予定されていますか？

A15 設置場所や大きさ、内容については未定ですが、広く皆様に、建物の由来を伝えられるような案内板の設置を検討しております。

Q16 完成時、青山学院関係者をお迎えしてのオープニングセレモニー等は考えられていますか？完成を祝う市民の気持ちを受け止める催しの計画はありますか？

また、市民団体主催の完成見学会などはできますか？

A16 竣工後、近隣市民の方々や、旧鎌倉図書館の活用に関わった方々をご招待したオープニングセレモニーや内覧会の開催を予定しています。

なお、見学会等は全て市の主催で開催したいと考えております。

Q17 非営利市民団体である「図書館とともにだち・鎌倉」と「鎌倉・文化の森」では、「旧鎌倉図書館保存のためのチャリティー・コンサート」を催したり、「旧鎌倉図書館保存とともに基金」を創設するなどして旧鎌倉図書館の保存、保全のための寄附金を募ってきました。来年2月の竣工に向けて、手元に保管している市内外の皆さまからの浄財をぜひ鎌倉市と協議しながら有効に活用していきたいと考えていますので、この件について担当課と話し合いをさせていただけますか？

A17 寄附金の申し出につきまして、竣工後の所管であるこどもみらい部青少

年課にご相談いただければと思います。申し出をいただいた際は、これまでの経過を踏まえ、有効活用できるよう寄附者様との話し合いをさせていただきたいと考えています。

今後とも、市政への御理解、御協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

事務担当：地域共生課
担当課：公的不動産活用課
青少年課
管理番号：4-090